

# みんゆう 随想

笠ヶ岳山荘は明るい雰囲気でお祭りのようにごった返し、次々に入ってくる遅い宿泊者も笑顔でウエルカムしている。

今日の寝床は2階上段の日本海側、1坪3人に対して2組の布団が割り与えられ、素早くザックを置いて壁側をゲットして、非常食を掴まみに缶ビールで疲れを癒やしながら夕食を待た。

朝一で出発するためザックの整理をしていると3回目の食事案内がアナウンスされた。お代わり自由のハンバーグ定食を美味しく頂

## 渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング  
取締役会長



き、最後の食事なので片付けを手伝いお茶を飲みながら北アルプスの写真や冊子を見て寛いだ。

寝床から外を眺めると、若い韓国人数名が酒に酔って歌う踊るの大パーティー中。気温はぐんぐん下がりが遠くを見ると神秘的に雲海

トされた携帯アラームの音が鳴り、便乗起きして周りに気遣いながら、まるで夜逃げするかのようにはザックを抱えて玄関を出た。

荷物は全て小屋の軒先に置いて、ヘッドライトの明を突き破って、モグラ叩きをしたくなりそうに3000

撮るが良く写らない。一番手、三番手が着始めたので諦めて下山開始とした。

小屋でザックを背負い、快調に抜戸岩を通過したころうっすらと明るく、雲海

## 山に見せられて(24)

が真っ赤に染まり、防寒服に身を包んだアマチュアカメラマンが日没の瞬間に釘付けになっていた。

15分で一番手を決めたが周囲は真っ暗、ご来光までは乗鞍岳、御岳が眩しいばかりの山容を見せている。

正面に鷲羽岳、水晶岳、その奥には後立山連峰が繋がり、右には槍・穂高、南に

く床に着くが、疲れや早立ちなど皆同じで、間もなく断の合唱が始まった。快眠できず寝たりの覚めたりしていると、下段で4時にセツ

事が待っている。そこで仕方なく笠ヶ岳と書かれた木板を持って三角点の後ろに屈んで、証拠の写真を数枚に声を掛けてきた。

昨日の疲労もすっかり回復した同行の安斎さんが、「ここで大パノラマに興奮し」「ここで写真を撮ろう」と積極的